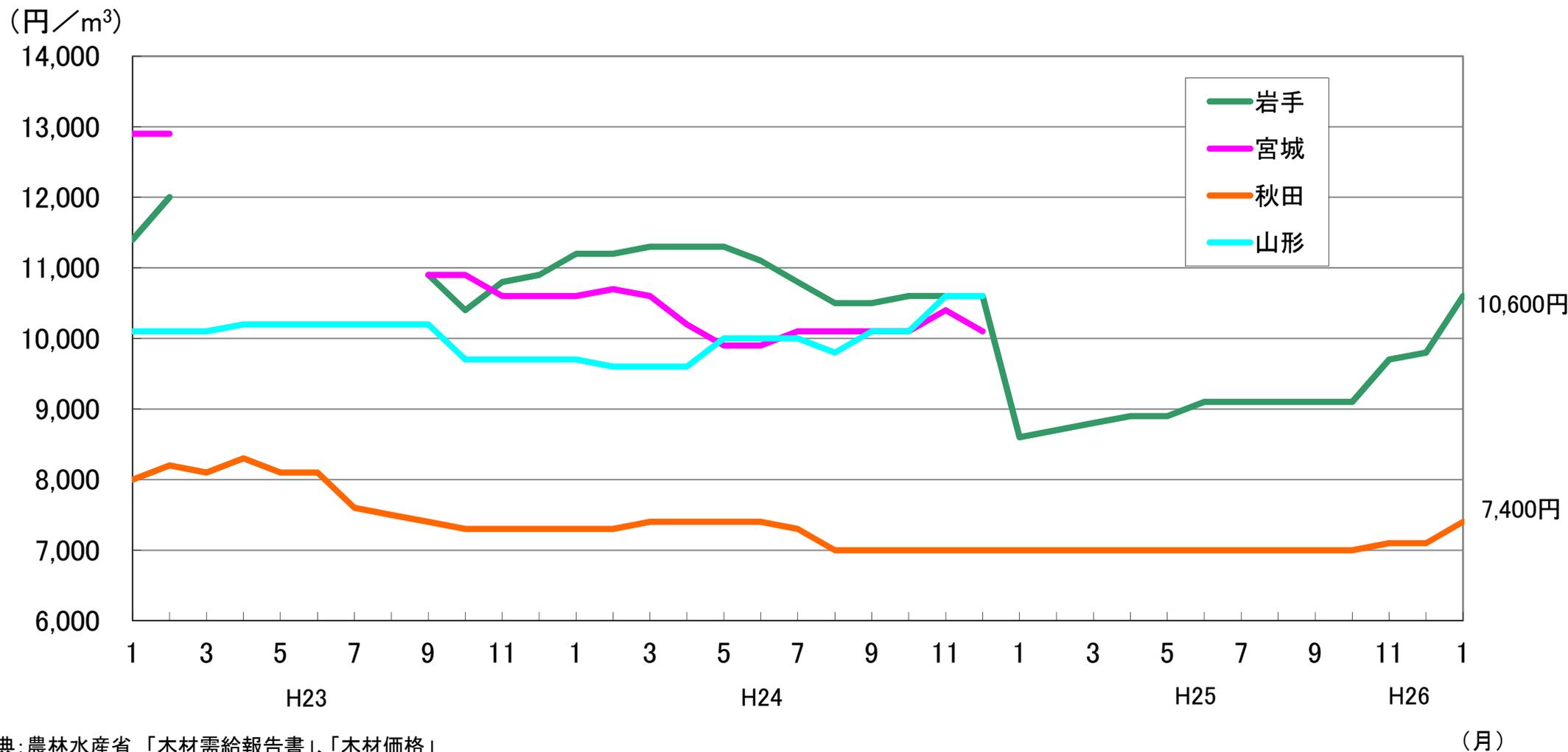


東北森林管理局管内の 木材価格等について

丸太価格の推移 (すぎ小丸太 3.65~4.00m、8~13cm、込み) (平成23年1月~平成26年1月)

○ 岩手県では、平成25年に入ってから緩やかな上昇傾向、6~10月は止まったが、11月以降上昇中。秋田県では、11月と1月に上昇。

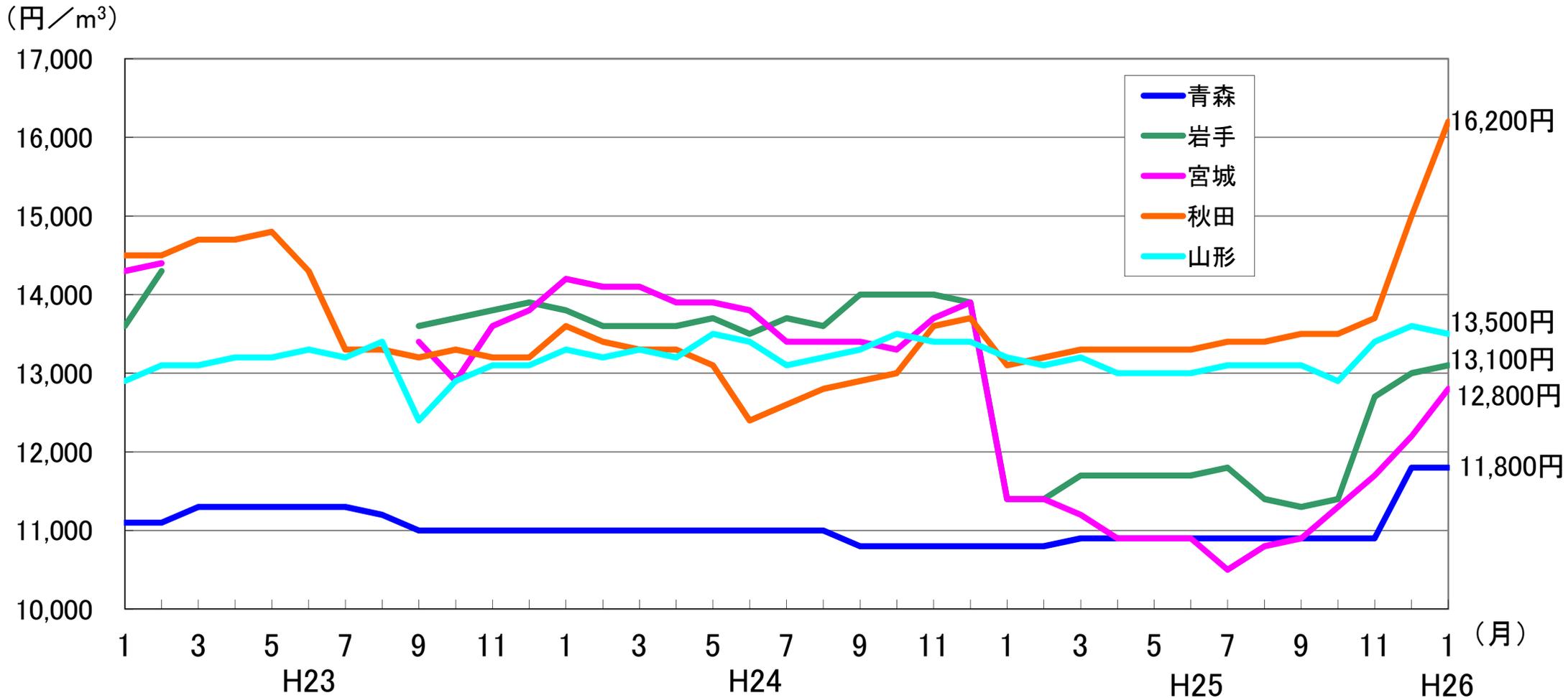


出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

- ※ 価格は工場着の価格。
- ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県の詳細データは未取得。
- ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

丸太価格の推移 (すぎ中丸太 3.65~4.00m、24~28cm、込み) (平成23年1月~平成26年1月)

○ 平成25年秋以降の本格的な上昇は、宮城県では10月の400円から、宮城県では11月の1,300円、山形県では11月の500円、秋田県では12月に1,300円、青森県では12月の900円であった。秋田県1月にも1,200円上昇し、16,200円に達した。青森県は1月には止まり、山形県では1月に入って下降した。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着の価格。

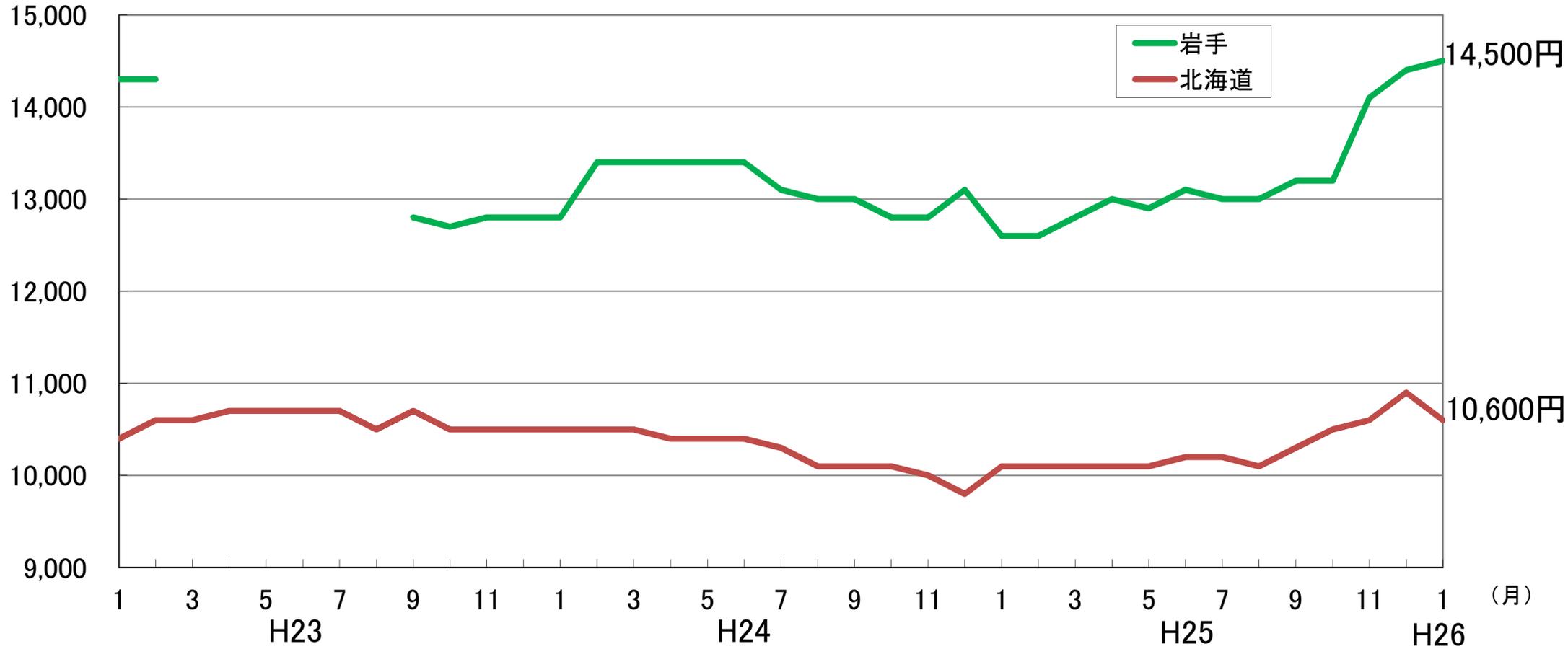
※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県のデータは未取得。

※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 丸太価格の推移 (からまつ中丸太 3.65~4.00m、14~28cm、込み) (平成23年1月~平成26年1月)

○ 岩手県では、11月に900円上がるがその後上昇額は300円、100円と鈍化、26年1月の北海道との差は3,900円に開く。

(円/m³)

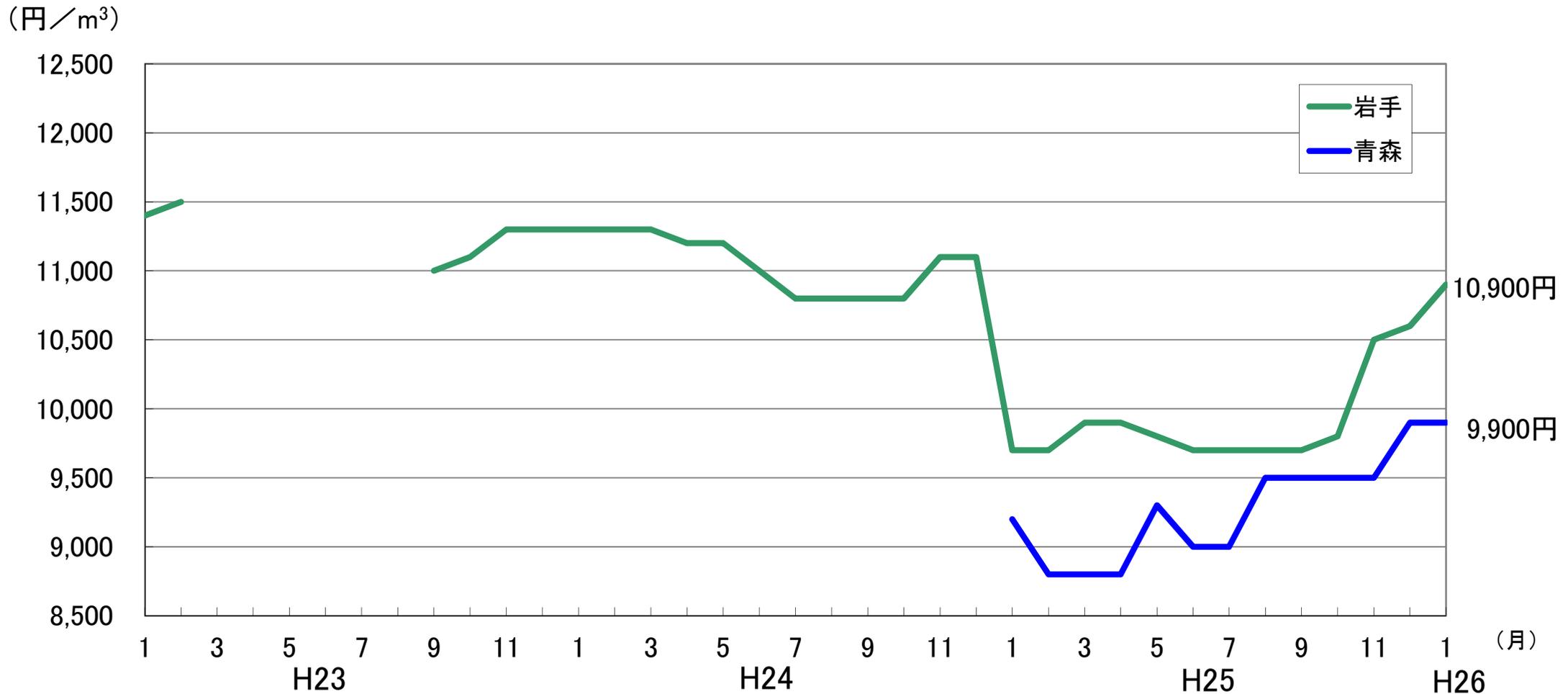


出典:農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

- ※ 価格は工場着の価格。
- ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県のデータは未取得。
- ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

丸太価格の推移 (まつ中丸太 3.65~4.00m、24~28cm、込み) (平成23年1月~平成26年1月)

○ 岩手県は10月から上昇、青森県は12月から上昇したが、1月には止まる。



出典:農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

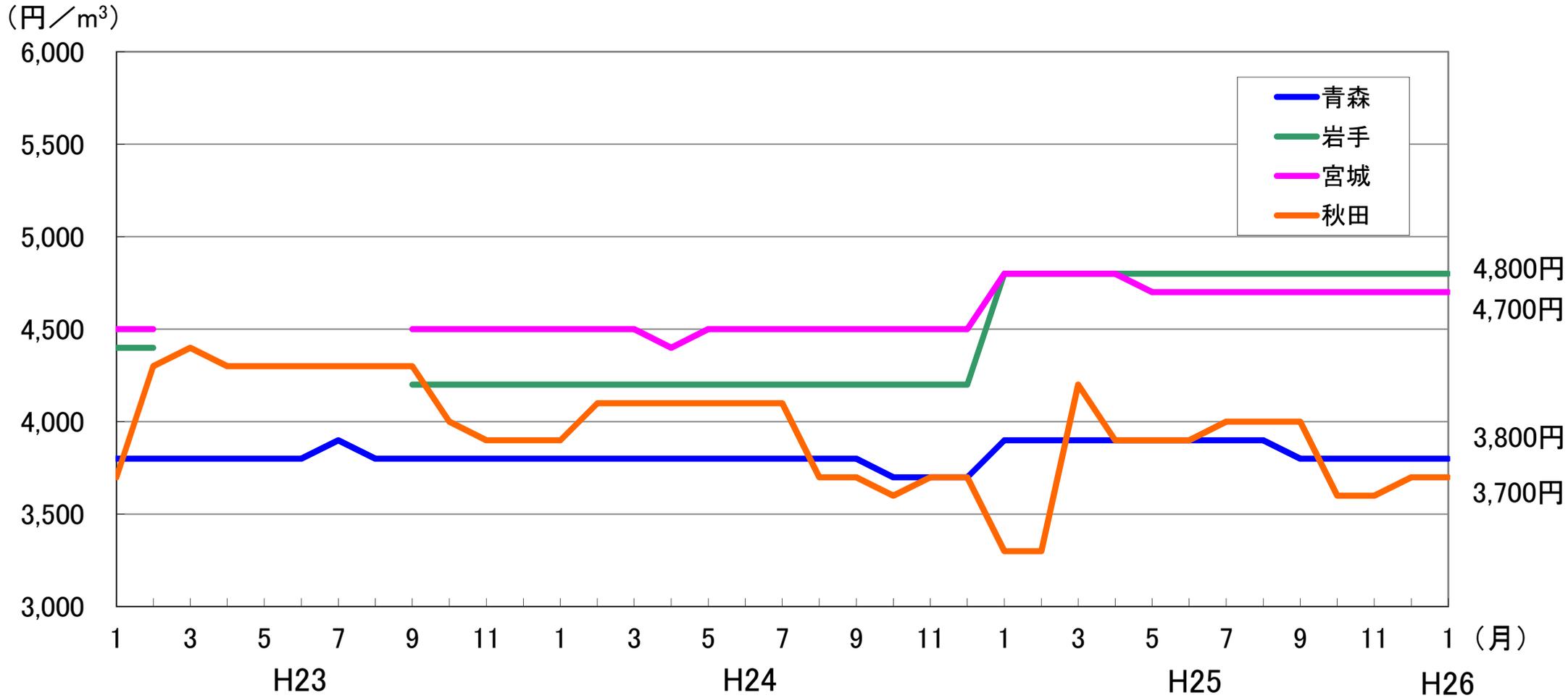
※ 価格は工場着の価格。

※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県のデータは未取得。

※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

針葉樹丸太(チップ向け)価格の推移 (平成23年1月～平成26年1月)

○ 最近3ヶ月はほぼ保合。秋田県の価格変動幅は大きく、平成25年1月以降では、2月から3月にかけて900円上昇。また、価格の高い岩手・宮城両県と秋田県を比較するとその差は、25年1, 2月が最大で1, 500円/m³となっている。

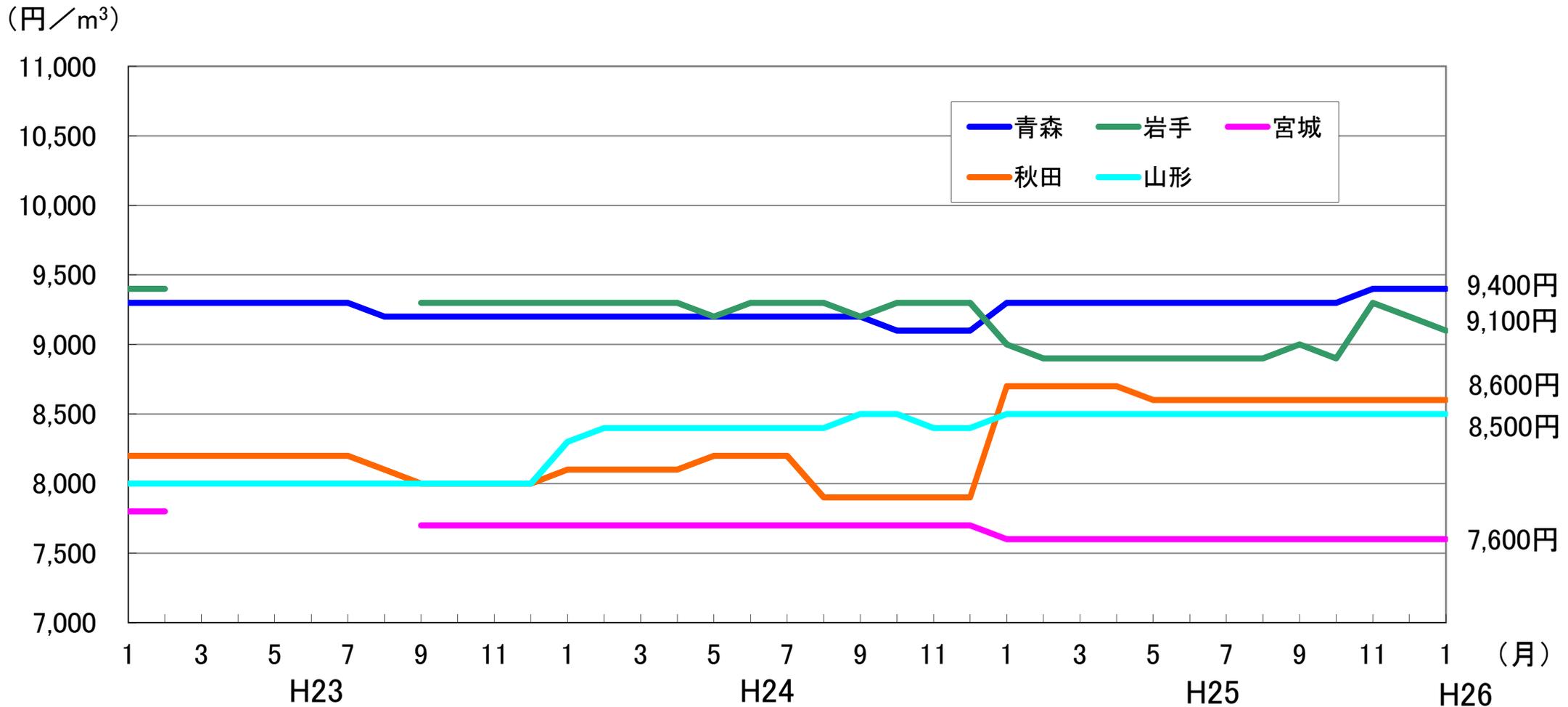


出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

- ※ 価格は工場着の価格。
- ※ 平成23年3月～8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県の詳細データは未取得。
- ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 広葉樹丸太(チップ向け)価格の推移 (平成23年1月～平成26年1月)

○ 最近では岩手県が12月、1月と下降傾向であるが他県は保合。県によって差があり、26年1月において、最も高い青森県と低い宮城県では、1,800円の差がある。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

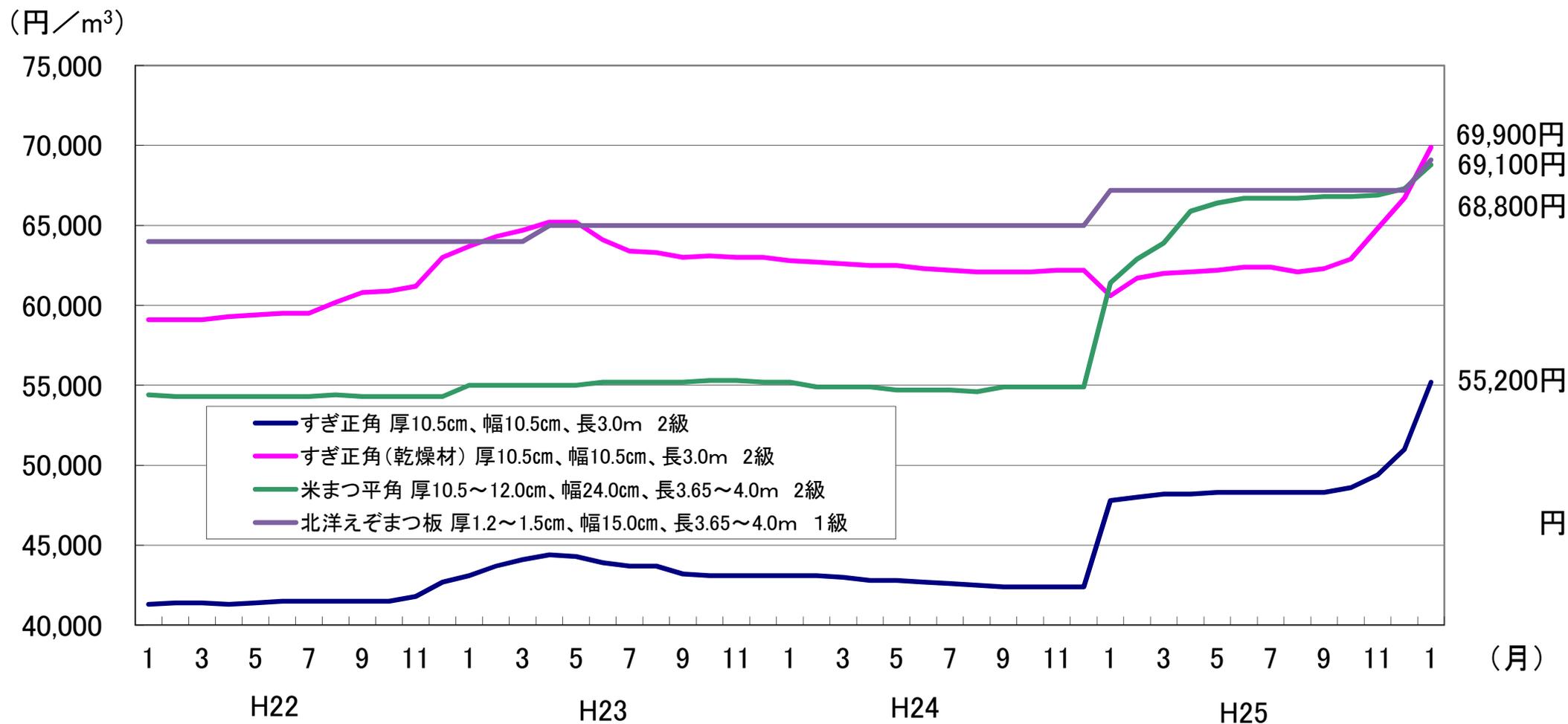
※ 価格は工場着の価格。

※ 平成23年3月～8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県のデータは未取得。

※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移（平成22年1月～平成26年1月）

○ スギ正角は25年10月以降、300円、800円、1,600円、4,200円と加速度的に上昇。同乾燥材は25年9月以降、200円、600円、1,900円、3,200円と同様に上昇。この結果1月には69,900円となり、米まつ平角の68,800円、北洋エゾマツの69,100円を超えた。



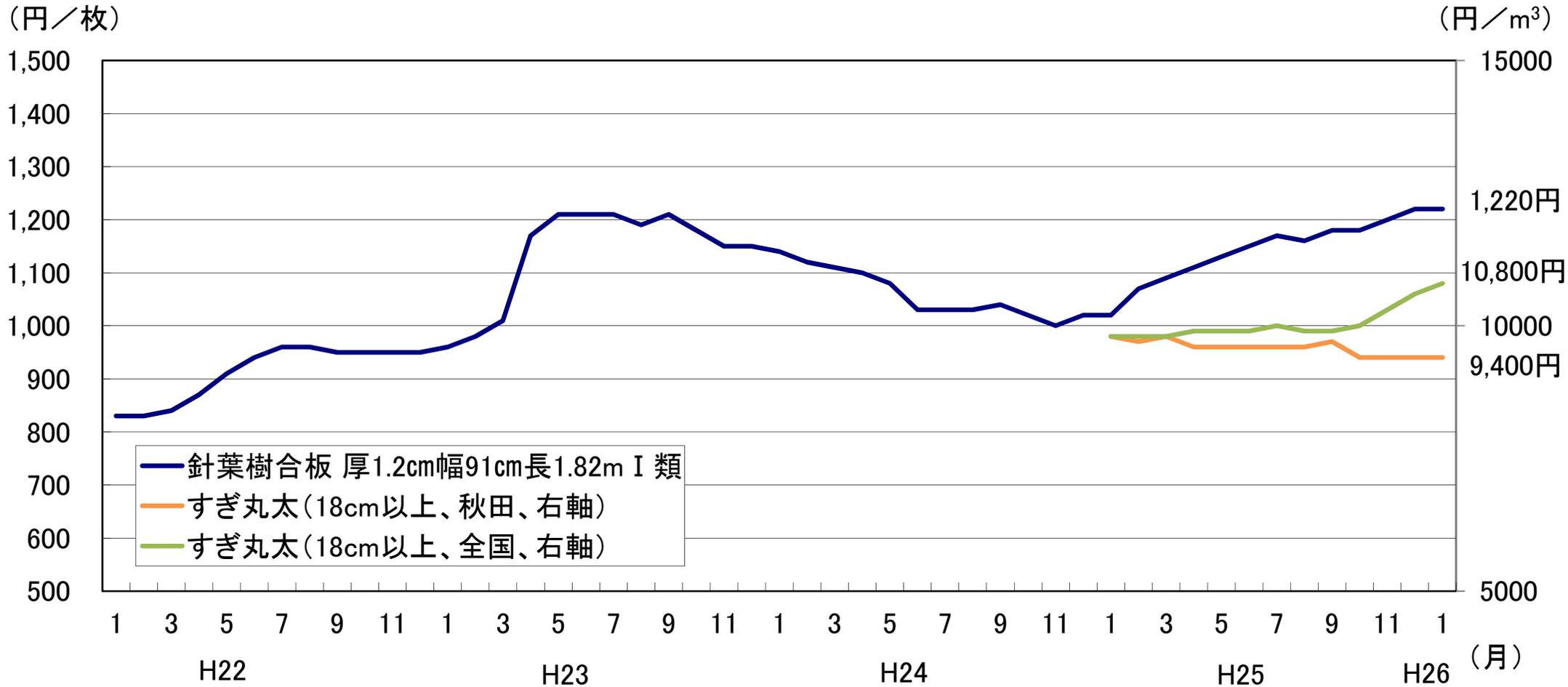
出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し販売価格。

※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 全国の合板、合単板用素材価格の推移（平成22年1月～平成26年1月）

○ 25年1月以降では、針葉樹合板は8月に10円下落10月及び26年1月には止まったが、1年を通じて緩やかな上昇傾向。全国の合単板用素材価格は10月以降上昇傾向。秋田県の合単板用素材価格は、段階的に下落している。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

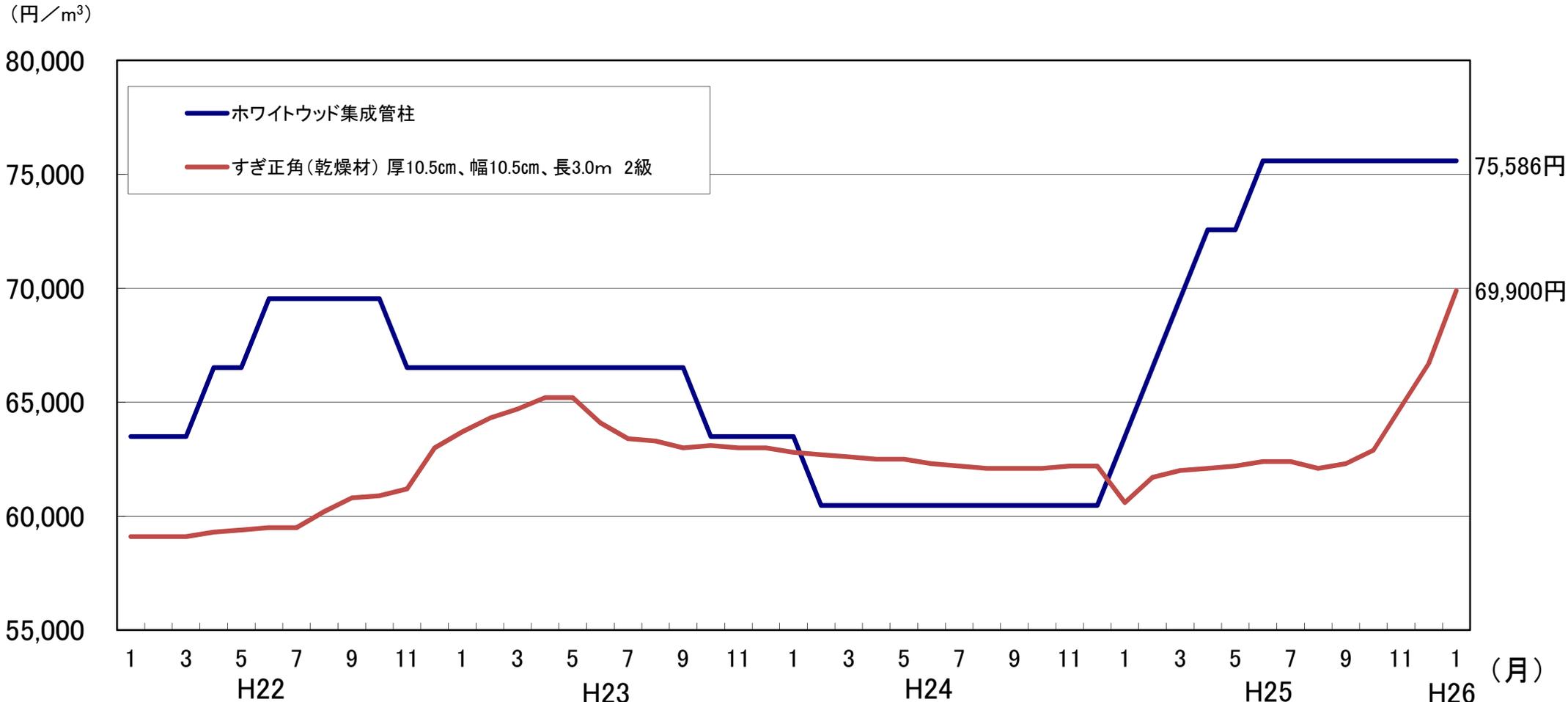
※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し販売価格。

※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

※ すぎの合板用素材価格はH25年1月から調査開始。

■ 全国の集成材価格の推移（平成22年1月～平成26年1月）

○ 平成24年12月から25年5月以外上昇を続けたホワイトウッド集成管柱は6月に2,500円/本で高止まった。一方すぎ正角乾燥材は9月以降5ヶ月連続で上昇中。

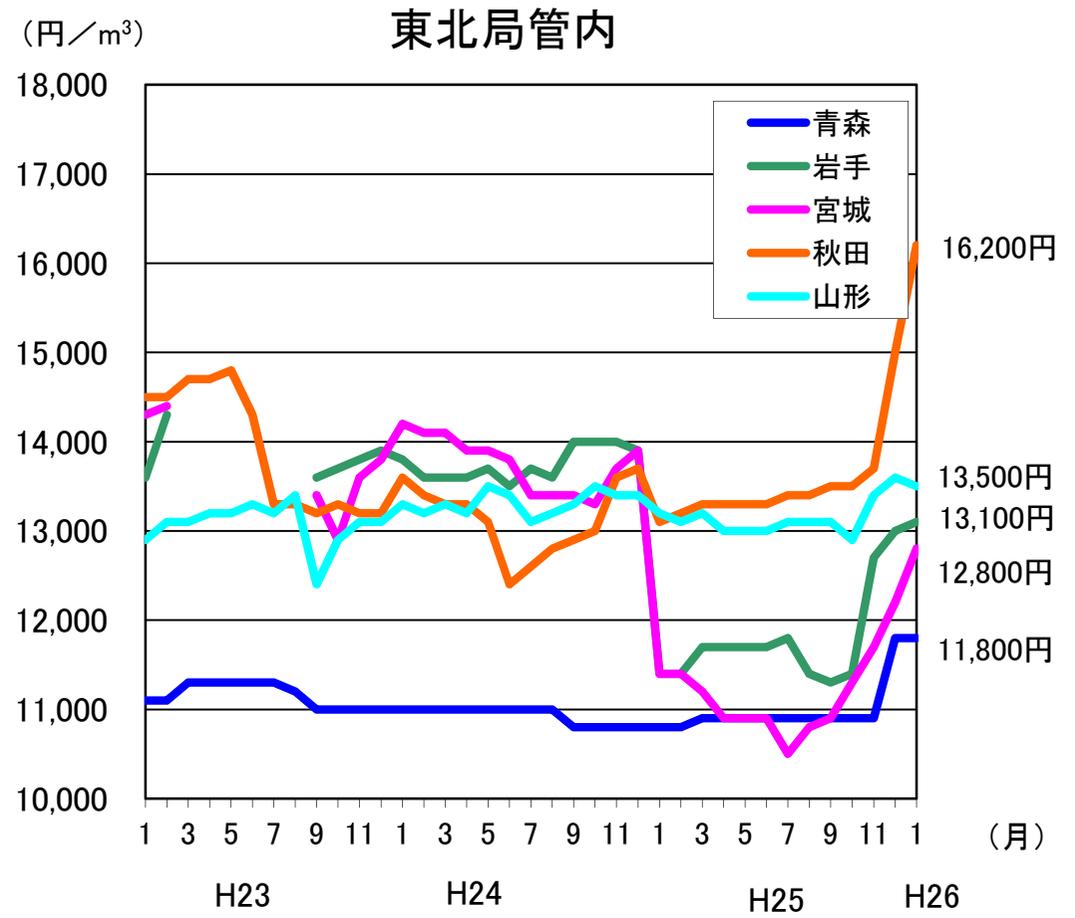
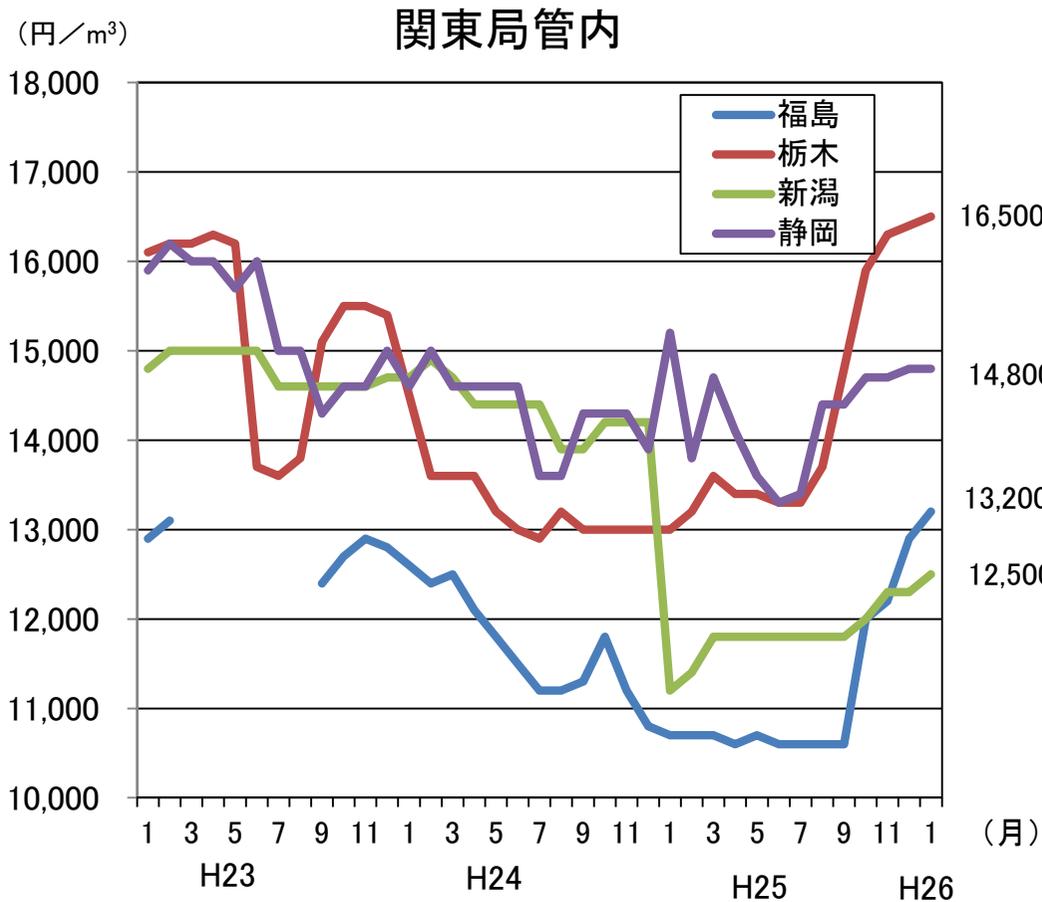


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し販売価格。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 関東局との木材価格の比較 (すぎ中丸太 3.65~4.00m、24~28cm、込み)

(平成23年1月~平成26年1月)

- 25年度以降では、関東では静岡県が7月から、栃木県が8月から上昇。福島県、新潟県は10月から上昇。栃木県では9月10月に連続1100円づつ上昇。福島県では10月に1400円上昇した。
- 東北では秋田県が7月ころから弱い上昇傾向がみられ、宮城県が8月、岩手県が10月、山形県が11月、青森県では12月になってから上昇の動きが見られた。秋田県では12~1月に急上昇し、16,200円に達した。

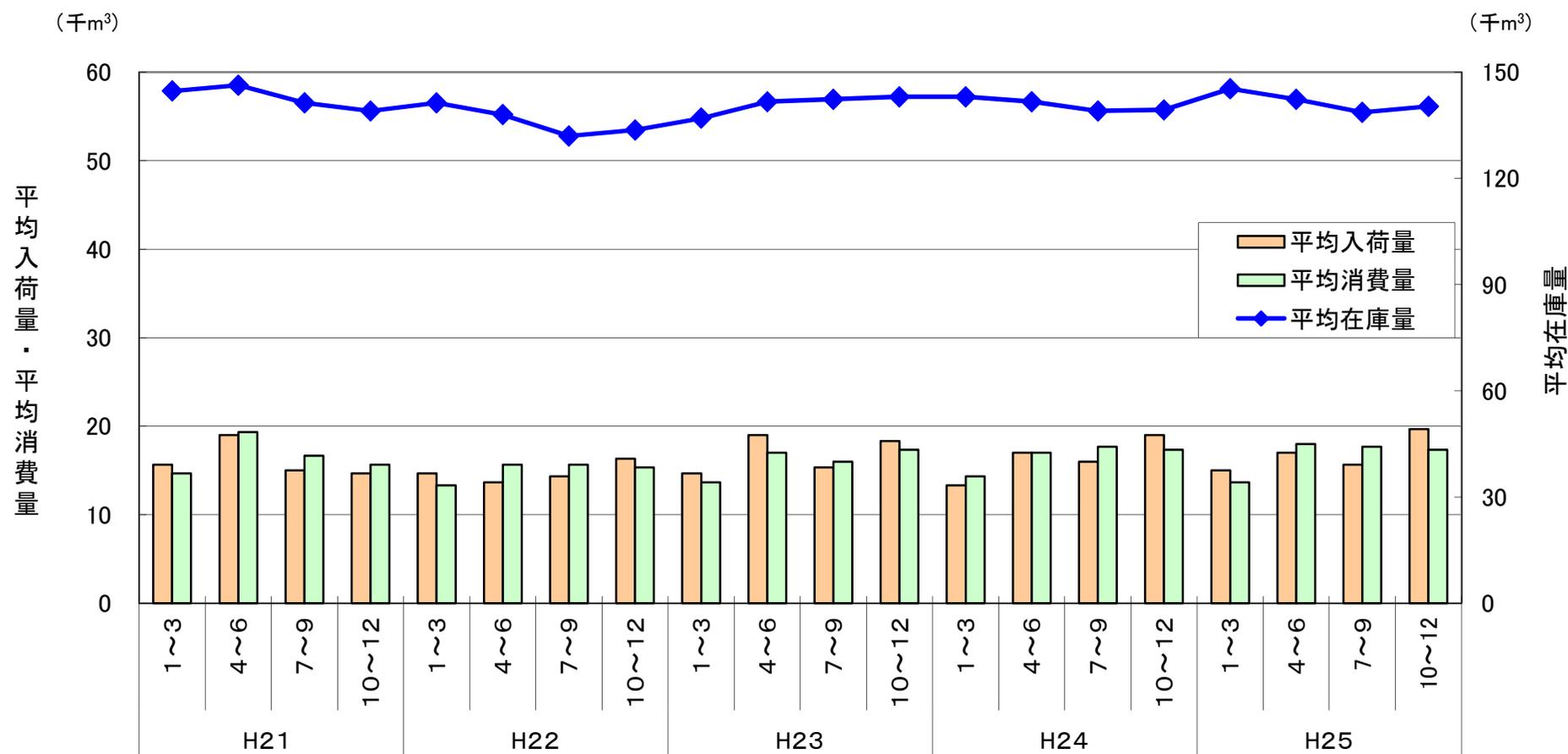


出典:農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着の価格。

※ 平成25年1月から調査方法を単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。
 ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県、福島県のデータは未取得。

■ 青森県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移(平成21年～25年)

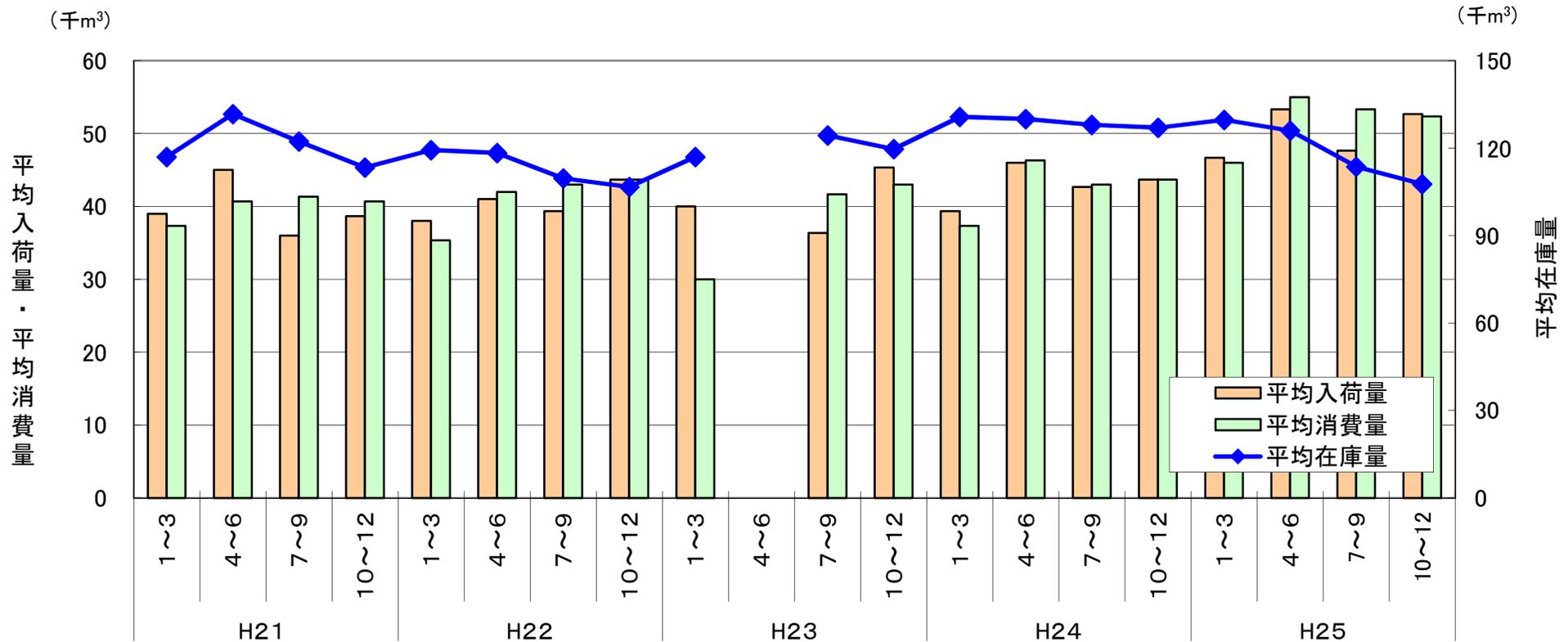
○ 平成25年第4四半期の平均入荷量は21年以降最高の20千m³、去年同期比104%。平均消費量は17千m³、去年同期比100%、平均在庫量は140千m³で去年同期比101%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 岩手県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移(平成21年～25年)

○ 平成25年第4四半期の平均入荷量は21年以降では、25年第2四半期と並び最高の53千 m^3 、去年同期比121%。平均消費量は52千 m^3 、去年同期比120%、平均在庫量は108千 m^3 で平成22年第4四半期について2番目の少なさ、去年同期比は85%。

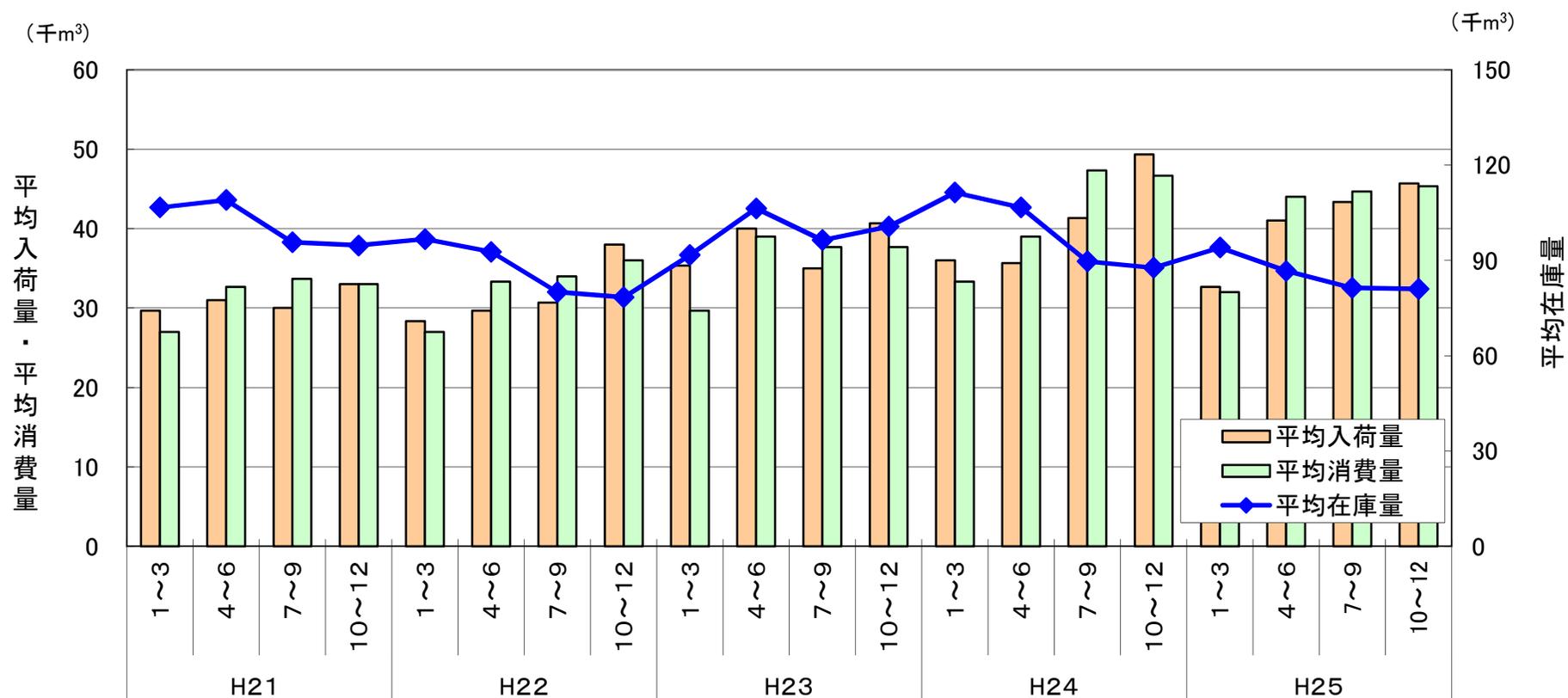


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 平成23年2月～6月は東日本大震災の影響でデータは未取得。

■ 秋田県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移(平成21年～25年)

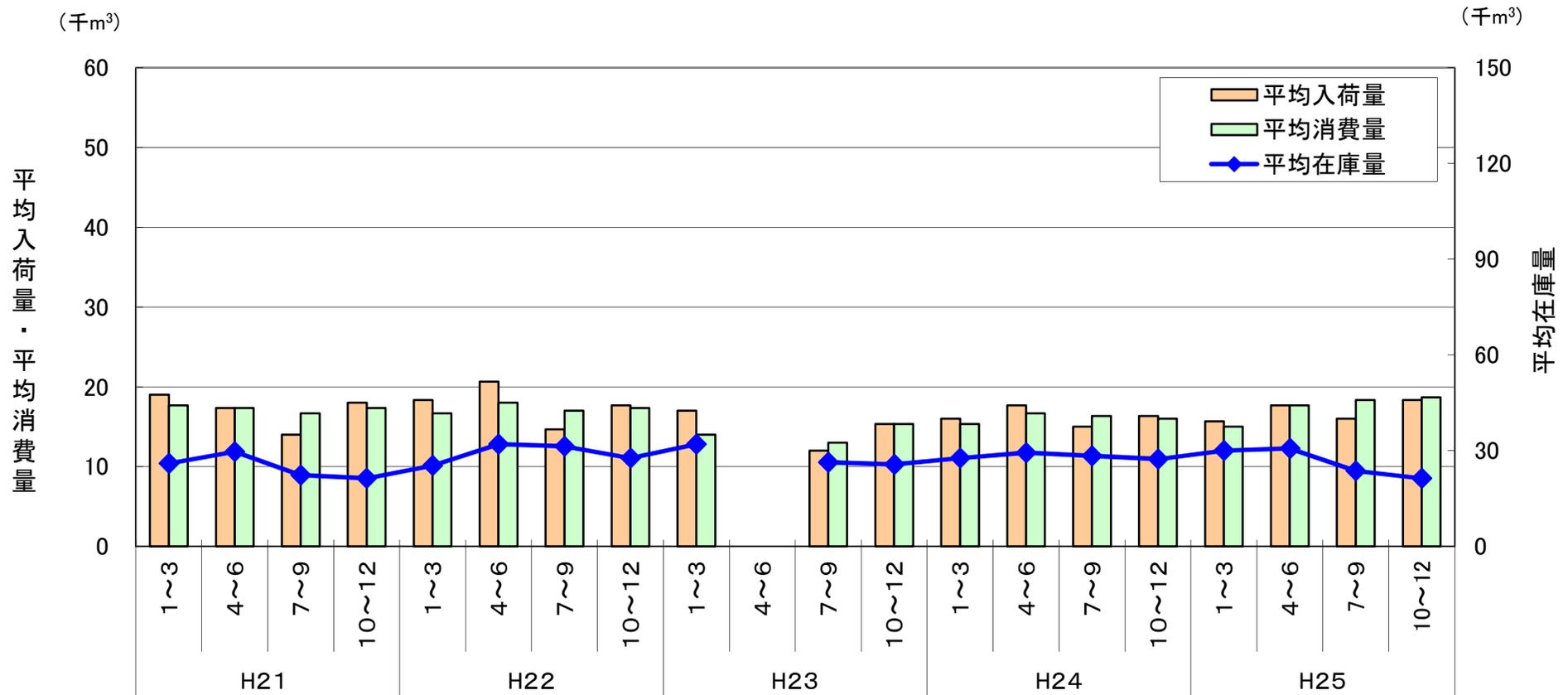
○ 平成25年第4四半期の平均入荷量は、46千 m^3 、昨年同期比93%。平均消費量は、45千 m^3 、昨年同期比97%、平均在庫量は81千 m^3 、昨年同期比92%。



出典:農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 宮城県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移(平成21年～25年)

○ 平成25年第4四半期の平均入荷量は18千 m^3 、去年同期比112%。平均消費量は、平成21年以降最も多い19千 m^3 、去年同期比117%、平均在庫量は21年第4四半期に並んで最も少ない21千 m^3 、去年同期比78%。

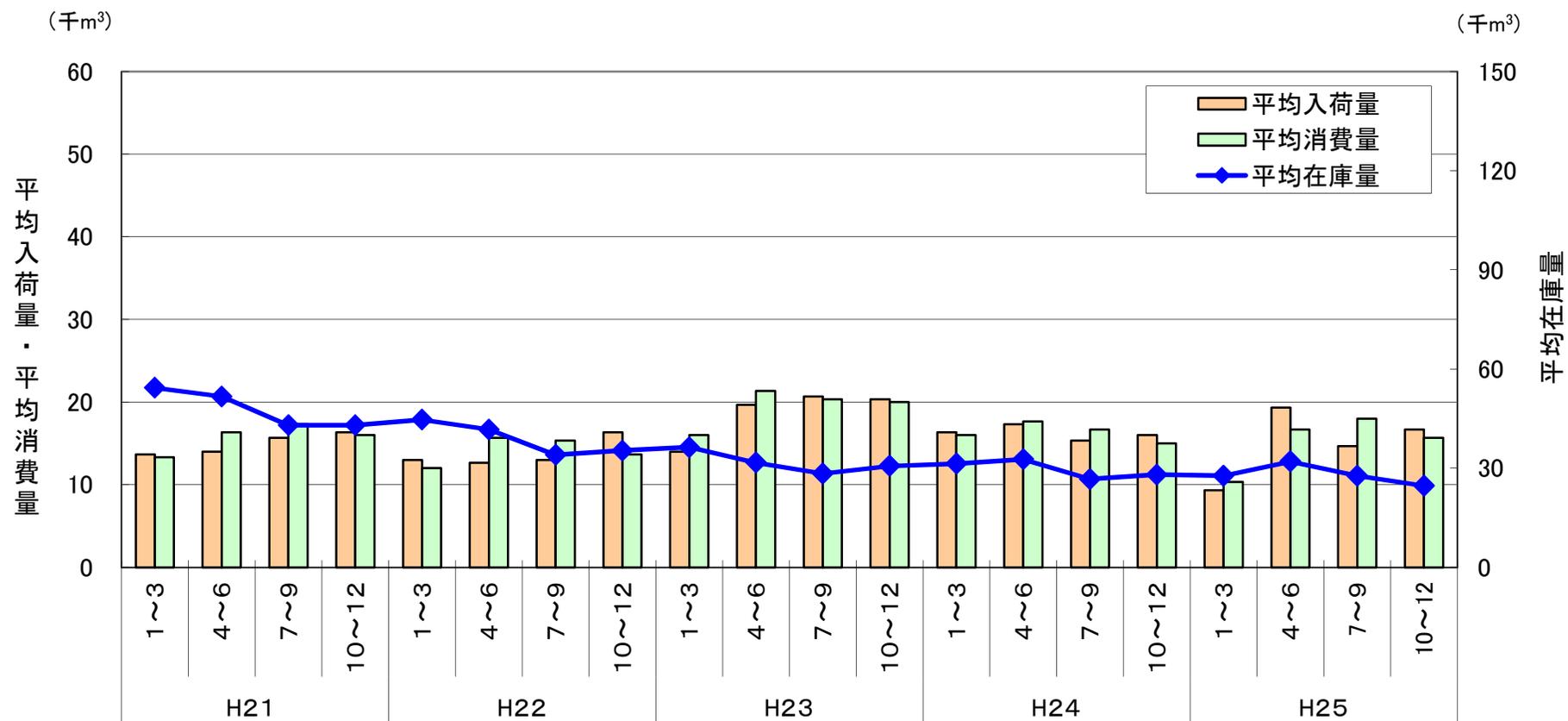


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 平成23年2月～6月は東日本大震災の影響でデータは未取得。

■山形県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移(平成21年～25年)

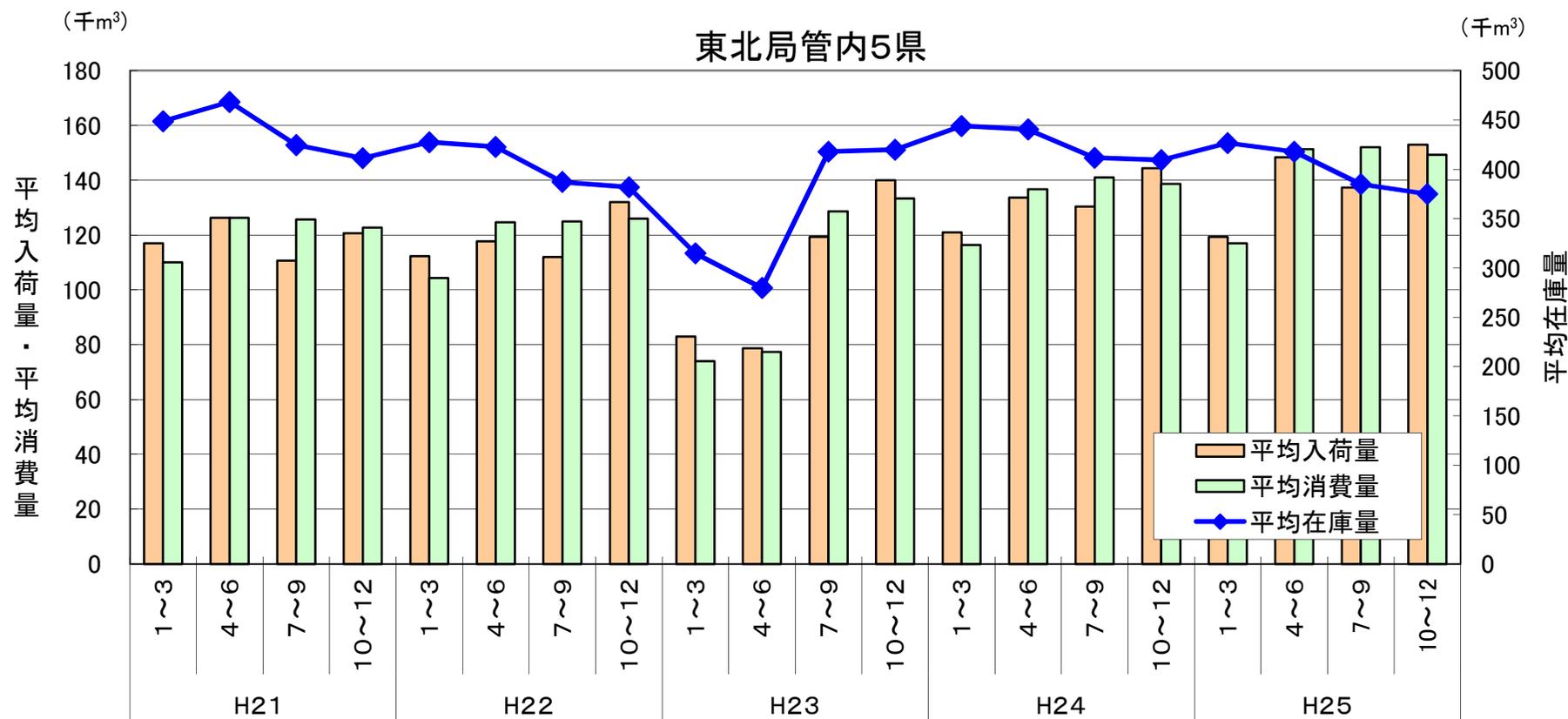
○ 平成25年第4四半期の平均入荷量は、17千 m^3 、昨年同期比104%。平均消費量は、16千 m^3 、昨年同期比104%、平均在庫量は25千 m^3 、昨年同期比88%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 東北5県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移(平成21年～25年)

○ 平成25年第4四半期の平均入荷量は、153千 m^3 、昨年同期比106%。平均消費量は、149千 m^3 、昨年同期比108%、平均在庫量は375千 m^3 、昨年同期比92%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」